

古道

夢や希望を持ち、めあてに向かってねばり強く学び続ける子

元気・本気・根気

チーム古道・オール都路

【最終号】

平成29年 3月23日(木) 発行 文責 校長 平塚 裕二

平成28年度田村市立古道小学校 卒業証書授与式



式 辞

小学校六年間の課程を修了し 本日本校を巣立つ一五名の卒業生の皆さん

ご卒業おめでとうございます。こうして、小学校を立派に卒業できることは皆さんの努力はもちろん、皆さんを支えてくださった地域の方々、ご家族の支えのおかげだと思います。

「感謝の心」をどうか忘れないでください。

この輝かしい門出にあたり、教職員を代表して、皆さんに感謝の言葉を贈ります。

東日本大震災で、行く先の不安を抱えていた四月、旧石森小の体育館で入学式を行った皆さんの愛らしさと輝く瞳がまさに上級生や先生方の希望となったあの日から早六年が過ぎました。皆さんは創立一四三年を誇る古道小学校最後という節目の年に、わずか一五名で全校児童を引っ張っていくリーダーの役割を見事に果たしました。

特に、古道小として記憶にしっかりと残る伝統の幕引きをしなければならないということには分かっていても、決して容易なことではなかったと思います。

しかし、皆さんは、何事にも果敢にチャレンジし、市の水泳大会の男子リレー優勝をはじめ、陸上大会でも活躍し、古道小の名を挙げたのははじめ、総合での都路キュウリマンの販売、男女が力を合わせて主体的に学び合い、行動し合って取り組んだ学習や各種の行事。運動面でも学習面でも見事にその期待に応えてくれました。

私はそのような皆さんを誇りに思いますし、歴代の古道小の六年生の中でも最高の六年生だったと思っています。これらも全て、あの東日本大震災の大変な最中に入學し、岩井沢小の子達と一緒に過ごし、互いに思いやり、支え合いながら「絆」を深めてきた三年間があったからに違いないとも考えています。そしてこの古道の地に戻ってきてからも、地域の方々をはじめとする沢山のみなさんから支えられ、励まされながら、その思いに応えるかのごとく素晴らしい学校を作り上げてくれました。本当にありがとうございます。

今ここに在校生がその後ろ姿を見ました。先輩の思いを引き継ぎ新たな小学校でチーム都路を引っ張っていかれることでしょう。どうか古道小学校の名は無くなつとも、古道小学校の卒業生であることを誇りに思い、中学校でも更に活躍して下さい。



143年間 ありがとうございました

平成29年3月23日に、古道小学校の歴史に幕を閉じる閉校式が、卒業式の後に行われました。



厳かに閉校式が始まりました



記念品の校歌オルゴールを頂きました

式では、6年生の村上翔吾さんが記念品を頂き、吉田実里さんが児童代表の言葉を発表しました。古道小学校に対する思い出の言葉一つ一つが、聴いているものの心によく伝わる素晴らしい内容でした。そして、全員で古道小学校最後の校歌を高らかに歌い終えると、富塚市長に、6年生の宗像愛望さんと本間琉星さんが「校旗を返納いたします。長い間お世話になりました。」と挨拶し、校旗を返納しました。



児童代表の言葉



市長さんに歴史ある校旗を返納しました

とても感動する閉校式でありましたが、卒業式はもっと胸にきました。6年間の課程を修了したという卒業証書授与ではありませんが、今回は6年間でなく、143年という永い時間の修了でもあります。古道っ子達の立派な態度が、式を最後まで盛り上げました。



「ありがとう 古道小学校。さよなら 古道小学校」

数々の思い出は、地域の方々や子どもたちの心の中で決して消えることのない灯火として残ることでしょう。

保護者の皆様、地域の皆様、子どもたち、そして、永きにわたって、古道小学校を支えて頂いたすべての皆様に、心から感謝申し上げます。

さよなら 古道小学校。校名はなくなるうとも、その伝統は、この地で脈々と受け継がれるはずです。ありがとう 古道小学校。

2017年3月23日

田村市立古道小学校 教職員一同